



2023年4月28日

各 位

会 社 名 日本特殊陶業株式会社
代表者名 代表取締役社長 川合 尊
(コード: 5334、東証プライム・名証プレミア)
問合せ先 財務戦略室長 富田 裕樹
(TEL. (052)218-6399)

剰余金の配当に関するお知らせ

当社は、2023年4月28日開催の取締役会において、下記のとおり、2023年3月31日を基準日とする剰余金の配当を行うことについて決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 剰余金の配当（期末配当金）の内容

	決定額	直近の配当予想 (2022年10月28日)	前期実績 (2022年3月期)
基準日	2023年3月31日	同左	2022年3月31日
1株当たり配当金	83円00銭	83円00銭	54円00銭
配当金総額	16,920百万円	—	11,008百万円
効力発生日	2023年6月6日	—	2022年6月3日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

2. 理由

当社は、株主の皆様への利益還元重視の姿勢を明確にするため、配当政策は完全業績連動型で通期の連結配当性向40%を基本方針としています。また、配当金額は通常の事業活動とは別に生じた一時的な損益を除く親会社の所有者に帰属する当期利益に対して連動するものとしております。

なお、当社の課題である事業ポートフォリオの改革、将来の成長に必要な研究開発、事業拡大・合理化のための設備投資及び出資に充てる内部留保を中長期経営計画の達成度合い等、総合的に考慮した上、適正資本水準を超える部分については、自己株式取得を含む株主還元の対象といたします。適正資本水準とは、有利子負債での調達という前提で、安定的に調達できるよう現在の格付けを維持できる水準と現中期経営計画の中で定義しています。

こうした利益還元をより機動的に行うために、剰余金の配当等に関しては定款の定めるところにより、取締役会の決議事項としています。

上記方針のもと、2023年3月期は、第2四半期決算短信で修正公表した配当予想を維持し、中間配当83円、期末配当83円の合計166円、連結での配当性向50.9%の配当を実施いたします。また、2024年3月期の1株当たり配当金については、2024年3月期の業績予想に基づき、普通配当金として年間133円を予定しています。

(参考) 年間配当の内訳

基準日	1株当たり配当額 (円)		
	第2四半期末 (中間)	期末	合計
2023年3月実績	83円00銭	83円00銭	166円00銭
2022年3月実績	48円00銭	54円00銭	102円00銭

以 上